



2023年9月6日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
代表者名 代表取締役 笠原 弘和
(コード：3647 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 山之内 督宗
(電話：03-5781-2522)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正並びに 配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、2023年8月期第4四半期連結会計期間において減損損失を計上すること、並びに2023年8月期個別決算において子会社株式の評価損及び貸倒引当金の計上による特別損失の計上を行うことを決定いたしました。これに伴い、2022年10月14日に公表いたしました2023年8月期通期連結業績予想及び未定としておりました2023年8月期の配当予想について修正を行うことについて決議を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 子会社におけるのれんの減損損失の計上について（連結決算）

サステナブル事業において、当社子会社である株式会社ジー・スリーファクトリー（以下、「G3ファクトリー」という。）が推進する、基礎化粧品及び健康食品の仕入販売事業について、2023年8月期当初より、計画に対して売上の低迷が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の長期化等によるOEM供給先の需要回復の遅れと新規製品の開発遅延から顧客への訴求不足、販路の拡大等をにらんだ事業の再構築の遅れが生じ、想定した業績まで回復しなかったことで、収益に大きな影響を及ぼしました。2023年8月期の業績が計画を大きく下振れたことにより、G3ファクトリーが計上するのれんに関して企業会計基準に則り、減損損失237百万円を特別損失として計上する予定であります。

なお、当該減損損失は、現金及び現金同等物の減少を伴うものではありません。

(2) 子会社株式の評価損の計上及び貸倒引当金の計上について（個別決算）

前記「(1) 子会社におけるのれんの減損損失の計上について」に記載のとおり、G3ファクトリーが減損損失を計上することにより、176百万円の債務超過となることから、当社が保有するG3ファクトリーの株式9百万円の評価損の計上に加え、当社からG3ファクトリーへの貸付金の一部について、株式の評価損分を差し引いた166百万円を貸倒引当金とし、合計176百万円の特別損失として計上する予定です。

なお、当該評価損及び貸倒引当金の計上は、当社の個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績予想の修正について

(1) 2023年8月期通期連結業績予想数値の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,500	百万円 60	百万円 30	百万円 20	円 銭 1.18
今回発表予想（B）	1,183	△250	△264	△475	△28.20
増減額（B－A）	△1,317	△310	△294	△495	
増減率（％）	△52.7	－	－	－	
（参考）前期実績 （2022年8月期）	1,926	37	38	△452	△26.89

(2) 修正の理由

以下の状況を踏まえ、売上、利益面共に2023年8月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

前記「1. 特別損失の計上（1）子会社におけるのれんの減損の計上について（連結決算）」における記載のとおり、G3ファクトリーは、2023年8月期当初より、売上の低迷が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の長期化等によるOEM供給先の需要回復の遅れと新規製品の開発遅延から顧客への訴求不足、販路の拡大等をにらんだ事業の再構築の遅れが生じ、想定した業績まで回復しなかったことで、収益に大きな影響を及ぼしました。また、G3ファクトリーの業績低迷により、同社が計上するのれんについて、減損損失による特別損失237百万円を計上する予定であり、加えて、同社が保有する商品在庫について棚卸評価損2百万円を計上しております。

当社グループの主要事業である、再生可能エネルギー事業における太陽光発電所のセカンダリ販売については、2023年2月24日付け「固定資産から販売用不動産への保有目的の変更に関するお知らせ」で公表した太陽光発電所2物件と、2023年7月14日付け「販売用太陽光発電所の取得に関するお知らせ」で公表した太陽光発電所1物件について、かねてより売却活動を進めてまいりましたが、当社の物件仕入れに若干の遅れが生じたこと、また、購入検討者からの引き合いが複数あったものの、契約交渉過程における購入検討者の資金調達に遅れが生じたこと等により、当初予定していた2023年8月期中の売却が間に合わず、当初想定していた2023年8月期の売上、利益面共に、大きく下回ることが確定いたしました。

G3ファクトリーが推進する基礎化粧品及び健康食品の仕入販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行後において既存製品の販売が回復基調にあるため、引き続き、事業再構築の遅れを取り戻すべく、新規製品の開発及び販路の拡大を見据えた営業活動を行ってまいります。

また、売却が遅れている太陽光発電所の3物件につきましては、継続して契約交渉を進めております。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

これまで「未定」としていた期末配当を「無配」に修正いたします。

	年間配当金（円 銭）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年10月14日公表)	—	未定	未定
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2022年8月期)	0.00	0.00	0.00

（2）配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として位置づけており、将来の事業展開に備え財務体質の強化を図る一方、業績や経済情勢などを総合的に勘案し、安定的な配当を目指していきたいと考えております。

しかしながら、前記「2. 業績予想の修正について」において記載のとおり、各指標において業績予想を大きく下回る見込みとなったため、これまで未定としておりました当期の期末配当について、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の業績予想等は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績とは様々な要因により異なる可能性があります。

以 上